

■ 湘南学園高校の皆さんがお越しになりました！



11月20日（火）、湘南学園高校一年生六名様センターに来てくださいました。同校は神奈川県藤沢市にあり、ESD（Education for Sustainable Development「持続可能な開発のための教育」）を基本理念とする、幼稚園・小学校・中学校高等学校からなる男女共学の総合学園です。

同校の一年生は、総合学習の中で「日本と世界が抱える諸問題」を考える課題を与えられており、そのフィールドワークとしてセンターを訪れてくれました。

生徒さんからは事前に「サンマ・イカ漁獲量の減少理由と打開策」「海の状態が変化していく中での漁業の在り方」「マグロ乱獲への対策と養殖の利点欠点」という良く調べ上げたテーマをいただき、それに沿って生産流通部からお話しをしました。

生徒さんは、近年のサンマ・イカ・サケ・クロマグロなどの不漁の原因や外国漁船との関係について興味を持っていました。不漁の原因が必ずしも取り過ぎだけに限らず、水温や潮境などの環境要因によって、魚の分布が年により異なることなどに高い関心を示していました。

若い人の魚離れが叫ばれる昨今ですが、意外にもふだんから魚を食べている様子で、この機会に魚の資源や生態などにも興味をもっていただき、ぜひ魚食普及に貢献していただきたいと思いました。進路として水産業界も候補の一つになりますでしょうか？

ご来訪ありがとうございました。（2018）